

「牛肉は好きですか？」指導資料

【題材の概要】

「牛肉は好きですか？」は、児童が外国の食文化に興味をもちながら、かつ「Do you like (beef)?」の表現に必然性を感じながら学習できる題材である。

我々は、ふだん食べないものを外国の人々が食べている映像を目にすると、気持ち悪く思ったり嫌悪感を抱いたりし、異なる食文化に対して偏見をもってしまうがちである。

児童は、日本食の特徴である「生の魚を食べること」が外国では気持ち悪く思われていたり、不衛生に思われていることを知り、反対に、外国ではどんな食べ物を食べているのかに興味をもち、調べてみたいと思うようになる。そして、どんな理由で食べたり食べなかったりするのかも、理解したいと思うようになる。

このようにして、児童は、世界の国々にはそれぞれの歴史や文化があり、お互いの食文化を理解し尊重し合うことの大切さを学んでいく。

【国際理解との関わり】

児童は、ふだん我々が食べないものを外国では食べていたり、反対にふだん食べているものが外国では食べられていなかったりすることを知る。そして、食についての偏見を無くすことやそれぞれの国の食文化を尊重することの大切さを理解し、尊重する心情や態度の素地を培っていく。

【各教科等との関連】

社会科・・・国土の位置、我が国と関係の深い国の生活、我が国の歴史
家庭科・・・日常の食事

【題材内容との関連事項】*学校の実態に応じて活用してください。

<食べるもの、食べないもの>

- 日本で一般に食べられているもの -

「豚」・・・イスラム教、ユダヤ教では食べることが禁じられている。

「牛」・・・ヒンズー教では牛は神聖なものであって食べない。

「タコ、イカ、エビ、カニ、貝、ウニ、鯨」・・・ユダヤ教では「水中に住んでいるのにヒレやウロコのないもの」は食べない。タコは、欧米では「デビルフィッシュ(悪魔の魚)」と呼ばれ嫌われている。

「海藻」・・・「ワカメ」や「昆布」などの海藻の仲間は、日本や韓国では多く食べられているが、ほとんどの国では食用とされていなかった。しかし、近年の日本食ブームや健康食ブームにより、海藻類を食べる外国人も増えている。

- 日本ではあまり食べないもの -

「羊の目玉、脳みそ」・・・中東では、お客様をもてなすごちそうである。

「カンガルー」・・・オーストラリアで、ステーキ、ソーセージ、挽肉として食べられている。

「犬」・・・韓国や中国では、ふつうに食べられている。また、フィリピンやベトナムでも食べる習慣がある。

「猫」・・・中国の一部で食べられている。また、オーストラリアのいくつかの部族では野生の猫を狩る習慣がある。

「ネズミ」・・・ガーナやタイで食べられている。

「モルモット」・・・「クイ」と呼ばれ、ペルーでは重要なタンパク源となっている。

「鳩、カタツムリ」・・・フランスでは、高級食材として食べられている。

「昆虫」・・・ヨーロッパ以外の文化圏では多くの昆虫が食べられてきた。「カイコの蛹」は、韓国やベトナムでは有名なお菓子である。イタリアのある地方では、チーズの風味付けに「ウジ」を漬かせることがあり、中国のある地域でも「ウジ」を食べる。ベトナムや中国、タイでは「タガメ」、中国や東南アジアでは「セミ」を食べる。

(日本でも、「イナゴ」や「ハチの子、カイコの蛹」を食べている地域がある。)

<日本食の特徴>

いろいろな特徴が挙げられる。

ご飯が主食である。魚の料理が多い。生の魚を食べる。醤油味や味噌味が多い。海藻を食べる。豆腐・納豆などの大豆製品が多い。日本茶を多く飲む。乳製品が少ない。盛り付けを重視する。四季折々の食材を利用する。煮物が多い。歯ざわりを楽しむ。音を出して麺を食べる。箸を使う。食器を直接口に持つてくる。

<食べ方のマナー（日本食）>

「日本人の一生は、箸に始まり箸に終わる。」と言われるように、日本人と箸は切っても切れな
い関係にある。正しい箸の使い方ができるかどうかは、とても大切なことである。ある調査では、
正しく箸を持てる小学生は約6割という結果であった。

ひとつのおかずばかり続けて食べずに、いろいろなものを順番に食べる。

出されたものは、残さず食べる。

(招かれたときは残すのがマナーという国もある。残さずに食べるのは、料理が足りないとい
うふうに受け取られる。)

ゲップをしない。

(ゲップをすることが「美味しい」という意思表示である国もある。)

感謝の気持ちを表す「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶をする。

(英語では、これにぴったり当てはまる言葉はない。)

そばを食べるときに音を立てても大丈夫である。音も楽しむ文化がある。

(音を立てて食べるのは非常識と考える国が多い。)

<子どもたちの好きな料理>

個人差や地域差はあるが、ある調査では次のような結果が出ている。伝統的な日本食は、このラ
ンキングには入ってきていない。

夕ごはんでは好きな料理・おかずは何？

1位「ハンバーグ」 2位「カレーライス」 3位「ギョウザ」 4位「スパゲッティ」 5位「鶏
の唐揚げ」 6位「シチュー」 7位「焼き肉」 8位「コロッケ」 8位「ステーキ」

学校給食で好きなメニューは何？

1位「カレーライス」 2位「ラーメン」 3位「揚げパン」 4位「スパゲッティ」 5位「鶏の
唐揚げ」

(「親から継ぐ『食』、育てる『食』」 2005年 農林中央金庫)

<世界の三大食事法>

地球上には約65億人の人々が住んでいると言われている。その65億人の食事方法を大きく分け
ると、手を使って食べる「手食」、箸を使って食べる「箸食」、ナイフやフォーク、スプーンを使っ
て食べる「ナイフ・フォーク・スプーン食」の3つに分けられる。

「手食」・・・中近東、東南アジア、アフリカ、オセアニア(約40%)

「箸食」・・・日本、中国、韓国、北朝鮮、台湾、ベトナム(約30%)

「ナイフ・フォーク・スプーン食」・・・ヨーロッパ、ロシア、北アメリカ、南アメリカ(約30%)

【本題材に関連した英語表現】

<聞かせるだけの英語表現>

クラスルームイングリッシュは、児童に指示をしたり、ほめたりするときに使う英語表現である。
この英語表現は、小学校段階では、児童が意味を理解できるようにすることが大切で、すぐに使え
るようにすることを目的としてはいけない。そのため、本題材の英語表現である「What (fruit) do you
like?」は、教師が話して聞かせ、児童に意味が分かればよい表現として位置付けている。

<食べ物の英語表現>

牛肉 (beef) 豚肉 (pork) 羊肉 (mutton) 鶏肉 (chicken) 鯨肉 (whale meat)、鳩 (pigeon)

カンガルー (kangaroo) セミ (cicada) カタツムリ (snail) タコ (octopus) イカ (squid) 海藻 (seaweed) エビ (prawn) カニ (crab) ウニ (sea urchin) 蚕のさなぎ (A chrysalis of a silkworm) 羊の脳みそ (the brain of a sheep) 犬の肉 (meat of a dog)
 コミュニケーション活動のときには、児童の負担を考慮して日本語で表現してもよいとする。

< Do you like (beef)? の応用 >

「Do you like (beef)?」の「(beef)」の部分を変えると、いろいろなことを聞くことができる。

食べ物以外にも、「教科名」「スポーツ名」「チーム名」「タレント名」「色名」等を聞くためにも使える。

< より自然な会話にするために >

“Do you like (beef)?” “Yes/No.” の他に次のような言葉を入れると、より自然な会話になる。

A : *Excuse me.* Do you like (beef) ?
 B : Yes/No.
 A : Yes/No... *OK. (Me too.) Thank you.*
 B : *You are welcome.*

【ワークシート等】

< ワークシートの扱い >

コミュニケーション活動のときに使用する。全部で10種類 (10カ国) あるが、児童数や扱える時数等に応じて、必要な数だけ印刷して使用する。チェック表の扱わない国の部分は、斜線で消しておくか、初めから「 (Yes)」、「× (No)」を付けておいて印刷するとよい。

インド

表面

Do you like ~?

インド 牛肉 羊 ニワトリ

インド	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	オーストラリア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
フランス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ノルウェー	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
エジプト	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	スペイン	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
韓国	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	イスラエル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
アメリカ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	中国	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

裏面

「 (Yes)」、「×」

斜線

< ワークシート (チェック表) の正解一覧 >

その国で一般的に食べられているものには「 (Yes)」、食べられていないものには「×」を付けた。
 (ただし、国の中でも地域性や個人の好みによって、「食べるもの、食べないもの」は異なる。)

インド	牛肉	羊	ニワトリ	オーストラリア	牛肉	犬	カンガルー
	×					×	
フランス	セミ	ハト	カタツムリ	ノルウェー	タコ	海藻	クジラ
	×				×	×	
エジプト	ハト	豚肉	羊の脳みそ	スペイン	タコ	クジラ	イカ
		×				×	
韓国	犬	海藻	蚕のさなぎ	イスラエル	ウニ	エビ	カニ
					×	×	×
アメリカ	タコ	海藻	クジラ	中国	豚肉	セミ	エビ
	×	×	×				